

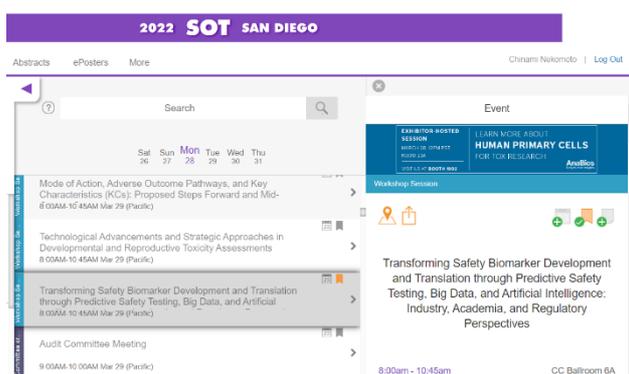
「Society of Toxicology(SOT) 学術年会派遣報告」

—はじめての国際学会を経験して—

塩野義製薬株式会社 安全性研究グループ 猫本 千波

このたび、日本毒性学会より 2022 年 3 月 27 日~31 日に開催されました、第 61 回米国毒性学会にオンライン参加する機会を頂きました。本年会は、San Diego と Online の Hybrid 開催となりましたが、オンデマンドの配信は 7 月 31 日までの 5 カ月間あり、長期にわたり学会参加を楽しむことができました。オンデマンド配信式の Hybrid 開催であったため、現地での活発な Discussion も聞きつつ、日本時間での参加が可能となり、複数のプログラムの時間の重複に悩まされることもありませんでした。また、国際学会への参加が初めてだった私にとっては実はこれが一番のメリットだったのですが、英語の動画の視聴速度を遅くして聴講することができ、現地参加できなかったことは残念ではありましたが、非常に学びの多い充実した学会となりました。

学会と合わせて介される教育セミナーの中から、「Importance of Sexual Maturity and Reproductive Senescence in Laboratory Animal Models」及び「Juvenile Toxicology Testing: Assessing Pediatric Safety」に参加し、日本毒性学会の生涯教育講座で講演する機会を頂きました。大動物の性成熟に関する講義では、講師の豊富な経験談を紹介いただき、また、幼若毒性試験の講義では、基礎的な知識から考えられる種々のケーススタディを紹介いただき非常に実用的な内容でした。それぞれ半日間の教育セミナーを通して、専門外の分野への理解を深めることができましたので、この学びを今後の創薬研究活動に活かしていきたいと思えます。このような貴重な機会を与えていただきましたことを心より感謝いたします。



↑ SOT 学術年会の Web 参加画面

SOT 学術年会の Poster Session→

